

三浦半島地域連合・かながわ労働センターとの意見交換開催!

～労働相談は増加、労働組合人数・組織率は減少～



7月16日(火)18時からかながわ労働センターと地域連合五役との意見交換をヴェルクよこすかにて開催しました。

かながわ労働センターから4名、地域連合五役8名、合計12名で行い、冒頭かながわ労働センター柿木所長から労働相談の実情を含めた挨拶、続いて滋野議長から相談内容を共有し、今後の活動に活かしていきたいとの挨拶したのち、かながわ労働センターの担当者より労働相談状況の詳細説明や具体的な事例の説明を受けました。

2018年度の労働相談の概況は、①年間の相談件数は12816件で前年度に比べ9.8%増、②女性からの相談件数は7,373件、7年連続で男性の相談件数を上回っている、③「解雇・雇止め・退職」、「労働時間」、「賃金」が相談内容の上位3項目で41.0%を占めるとのことでした。

また、神奈川県内の労働組合の状況については、①推定組織率が16.3%(0.6ポイント減)、②労働組合数2,399組合(前年2,451組合)、組合員は582,096人(前年591,857人)といずれも減少、③女性の組合員数が7連続で増加している、との報告がありました。

その後、三浦半島地域連合の活動を紹介した後に意見交換が行われました。

意見交換では相談内容1位の「解雇・雇止め・退職」で辞めさせてもらえない事例や就職氷河期世代の正規社員への登用などについて意見交換しました。



かながわ労働センターとの意見交換会は神奈川県内で労働組合がない方の相談が中心となりますが、神奈川県で働いている仲間がどのようなことで悩み・相談しているのかを把握し、地域連合の活動に活かすことを目的に開催しています。